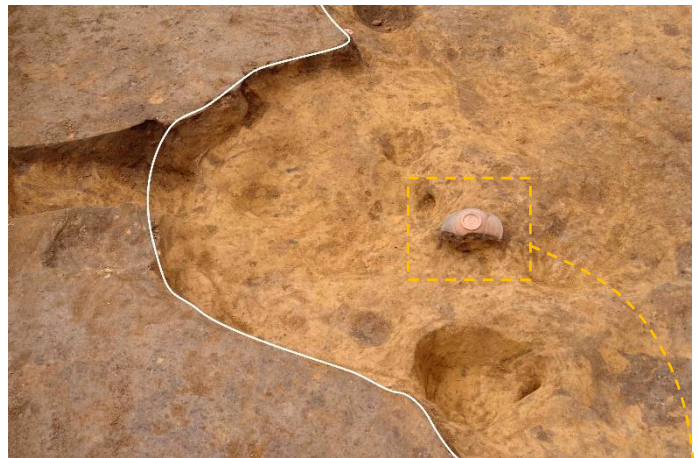


## 東前遺跡 第28地点

遺跡名	東前遺跡
よみがな	ひがしまえいせき
調査地点	第28地点
主な時代	平安時代（約1,200～1,100年前）
調査地	大字水子字東前
調査面積	638.73 m <sup>2</sup> のうち、63 m <sup>2</sup>
調査期間	令和6年6月3日～6月7日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 平安時代の竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 平安時代の須恵器（坏・埴）、鉄製品</p> <p>【概要】 東前遺跡は、大字水子の字東前や字久保新田などに位置し、主として縄文時代、古墳時代後期～平安時代、中近世の遺構が見つかる遺跡です。</p> <p>今回調査した第28地点は、水子貝塚公園前の交差点から東に約150mの地点です。発掘調査の結果、平安時代（9世紀ごろ）の竪穴住居跡1軒が確認できました。</p> <p>竪穴住居跡は、一辺が4～5mを測る隅の丸い四角形です。住居跡の東側には、当時の調理施設である竈<sup>かまど</sup>が設けられていました。</p> <p>住居跡の中からは、須恵器の坏<sup>すえき</sup>や埴<sup>つぎ</sup>、棒状の鉄製品等が出土しました。</p>



平安時代竪穴住居跡の完掘状況



住居に設けられていた竈<sup>かまど</sup>の跡



須恵器の坏<sup>すえき</sup>が出土した様子



須恵器の埴<sup>すえき</sup>が出土した様子